

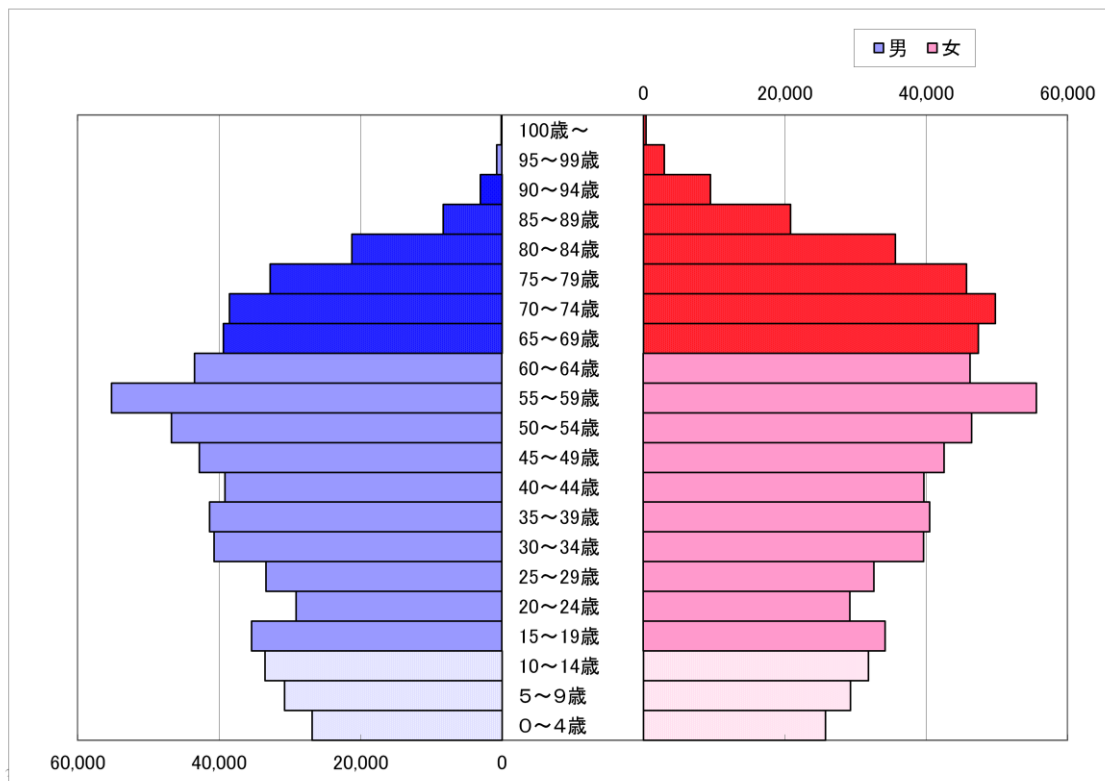


**最新データからみえる岩手県の健康状態」
～人口動態統計、特定健診データ、生活習慣アンケート等～**

**岩手県環境保健研究センター
保健科学部**

人口動態統計

平成20年人口ピラミッド 岩手県

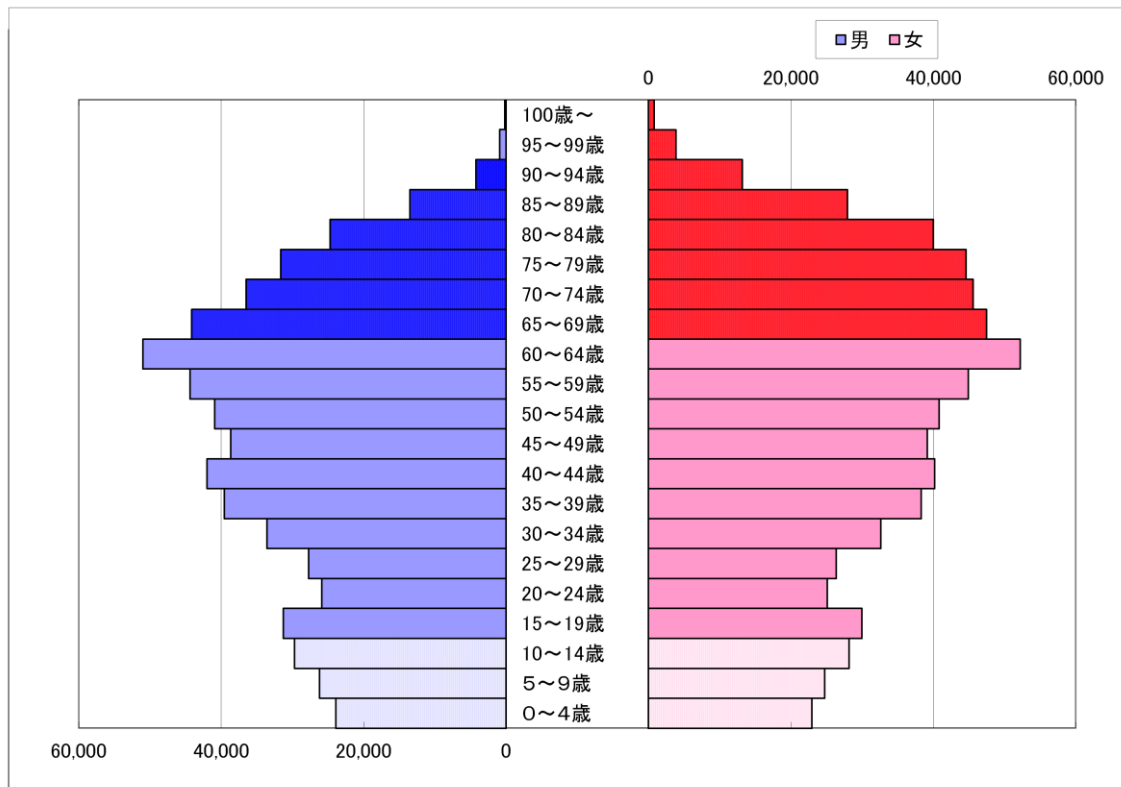


『出典』平成20年10月1日推計人口(岩手県調査統計課)

スライド1-1

- これは、岩手県調査統計課による平成20年10月1日推計人口を用いた、平成20年の岩手県の人口ピラミッドです。
- 男女ともに55～59歳が最も多く、第1次ベビーブームに出生した世代をピークに、それ以降の年代は減少しています。

平成26年人口ピラミッド 岩手県

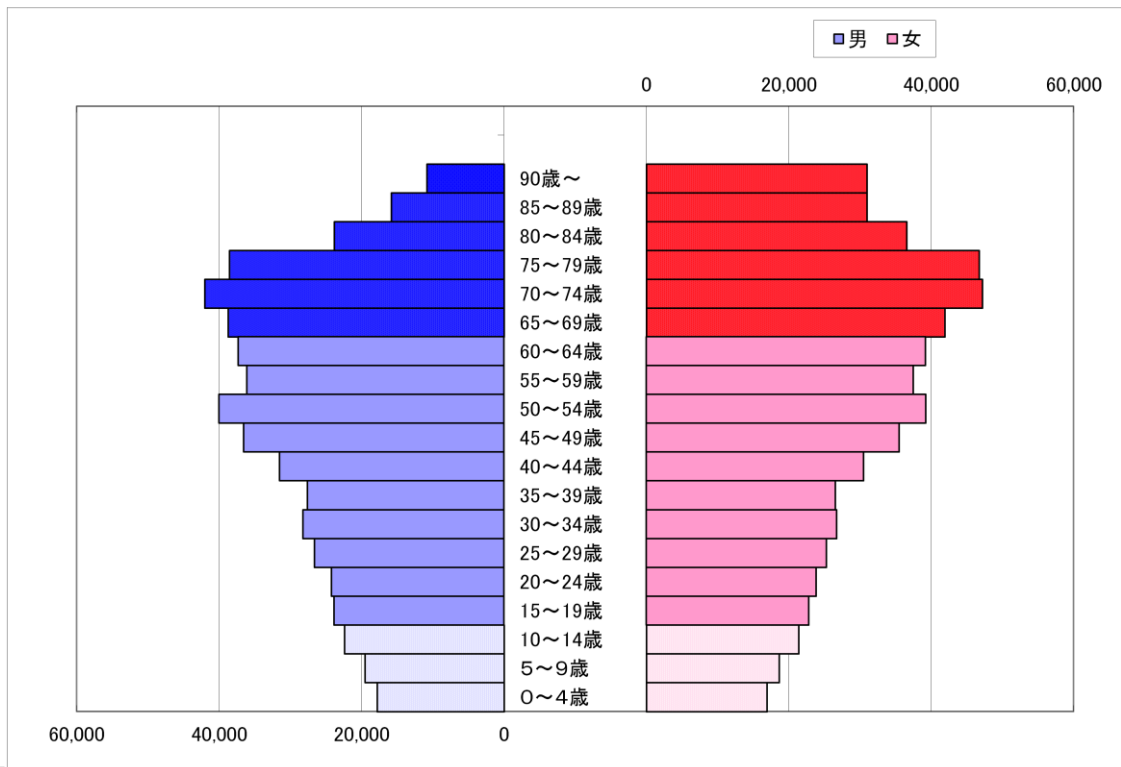


『出典』平成26年10月1日推計人口(岩手県調査統計課)

スライド1-2

- 平成26年10月1日推計人口を用いた、平成26年の岩手県の人口ピラミッドです。
- 最も人口の多い第1次ベビーブームに出生した世代が60歳代となっています。
- 0～14歳までの年少人口は、平成20年に比べてさらに減少しています。

平成37(2025)年人口ピラミッド 岩手県



『出典』日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)(国立社会保障・人口問題研究所)

スライド1-3

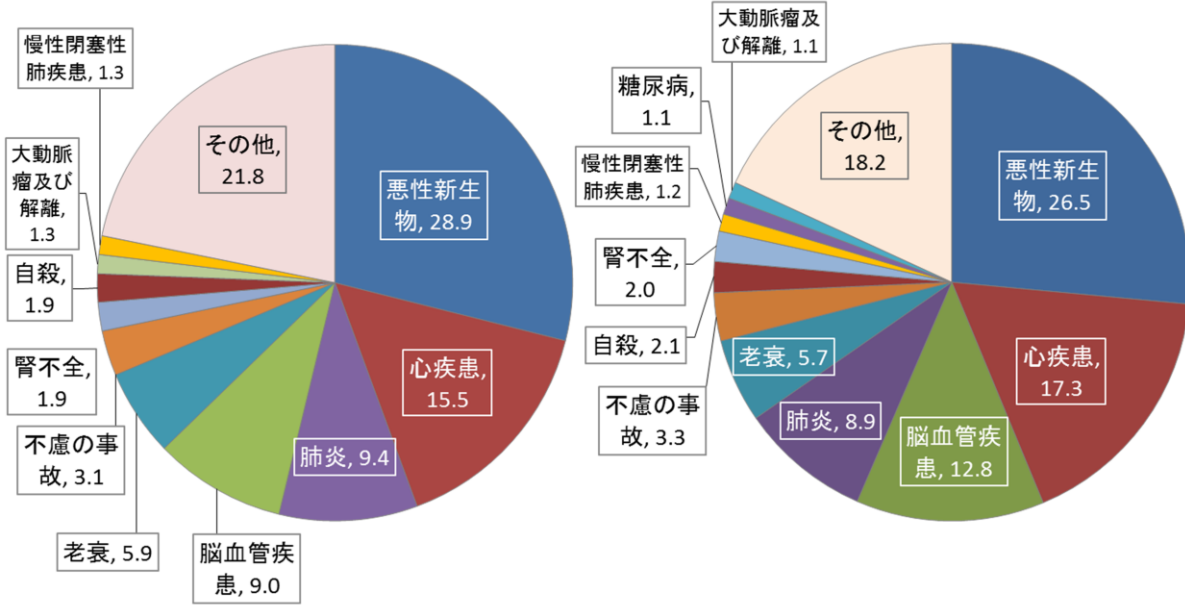
- これは、国立社会保障・人口問題研究所が作成した、日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)を用いた平成37年の岩手県の人口ピラミッドです。
- およそ10年後には、現在よりも65歳以上の老年人口の割合が増え、15歳～64歳までの生産人口と0歳～14歳までの年少人口の割合が減少することが予想されます。

⇒ 次回につづきます。

平成26年主要死因別割合(%) (総数)

【全国】
 総死亡数 1,273,004人
 総死亡率(人口10万対) 293.5

【岩手県】
 総死亡数 16,274人
 総死亡率(人口10万対) 336.5



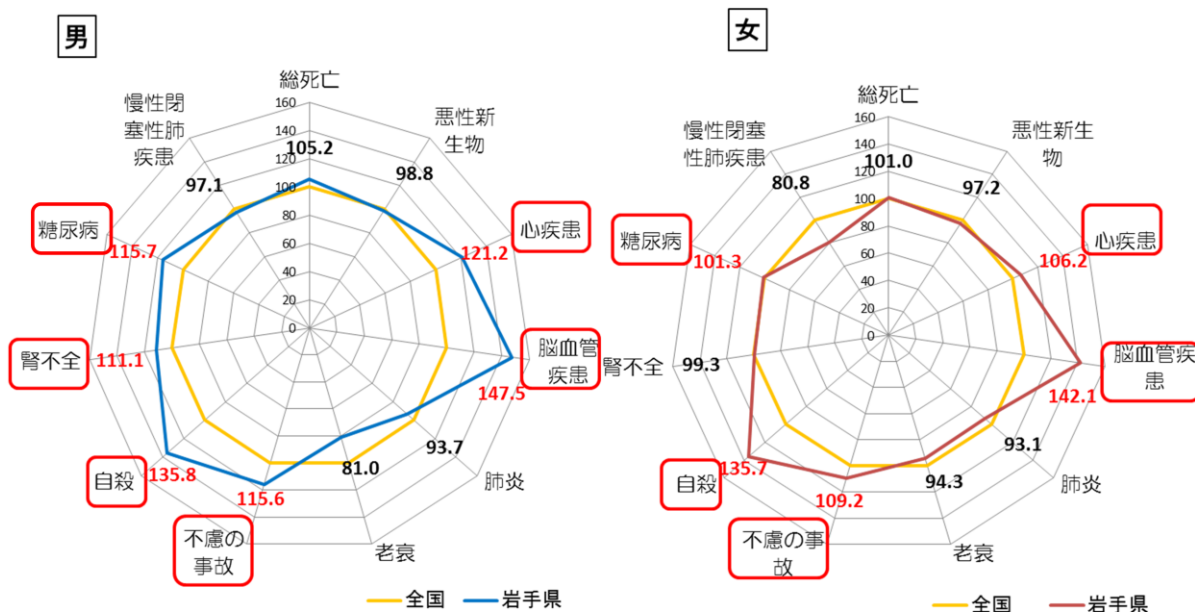
6

『出典』平成26年人口動態統計(厚生労働省)

スライド1-4

- これは、平成26年人口動態統計を用いて算出した、平成26年主要死因別割合です。
- 全国の死因順位が、「1位:悪性新生物」「2位:心疾患」「3位:肺炎」に対して、岩手県は、「1位:悪性新生物」「2位:心疾患」「3位:脳血管疾患」であり、平成23年以降、3位の死因に違いが見られます。

平成26年標準化死亡比



(注) 平成26年の全国の5歳階級別人口と5歳階級別死因別死亡数、岩手県の5歳階級別人口と死因別死亡数を用いて、岩手県環境保健研究センターで算出

スライド1-5

- 平成26年の全国及び岩手県の人口と死亡数を用いて標準化死亡比を算出し、レーダーチャートで表しました。
- (※平成26年の全国の5歳階級別人口と5歳階級別死因別死亡数、岩手県の5歳階級別人口と死因別死亡数を用いて、岩手県環境保健研究センターで算出したものです。)
- 全国の死亡割合を100として、それより大きい数字は「全国より悪い」、小さい数字は「全国より良い」ことを意味します。
- 岩手県は男女ともに「脳血管疾患」と「自殺」が特に悪い状況にあり、課題となっています。

⇒ 次回につづきます。

3死因別粗死亡率(人口10万対)の都道府県別順位(高率順)

【悪性新生物(総数)】

順位	H22		H23		H24		H25		H26	
	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率
1	秋田	377.3	秋田	377.2	秋田	386.7	秋田	392.8	秋田	407.3
2	青森	349.3	島根	359.2	島根	361.5	青森	369.7	青森	379.5
3	島根	349.2	高知	355.4	山形	357.7	島根	367.6	島根	361.7
4	和歌山	344.9	青森	353.2	青森	356.7	山口	355.6	鳥取	358.3
5	鳥取	344.1	和歌山	349.2	山口	346.3	長崎	354.1	長崎	357.1
6	高知	340.2	山形	347.2	和歌山	345.3	和歌山	353.9	山形	356.9
7	山口	336.7	鳥取	346.4	高知	344.6	山形	353.4	和歌山	352.2
8	山形	335.9	山口	341.6	長崎	337.0	鳥取	352.8	北海道	348.6
9	長崎	331.4	佐賀	338.0	新潟	335.9	高知	341.9	高知	347.6
10	新潟	327.7	長崎	337.6	北海道	333.3	北海道	341.0	山口	341.9
11	岩手	326.2	北海道	331.8	鳥取	331.1	新潟	339.6	新潟	339.4
12	北海道	324.8	鹿児島	326.6	佐賀	331.1	岩手	333.0	佐賀	336.7
13	徳島	324.8	岩手	326.4	鹿児島	327.8	富山	330.2	岩手	336.5
14	佐賀	320.7	新潟	322.8	岩手	326.5	佐賀	329.9	富山	336.1
43	愛知	245.8	千葉	249.0	埼玉	250.0	滋賀	254.4	東京	259.3
44	千葉	245.0	滋賀	245.1	神奈川	249.3	埼玉	253.7	滋賀	257.6
45	埼玉	240.1	埼玉	244.8	愛知	248.8	愛知	253.7	神奈川	256.4
46	神奈川	238.2	愛知	242.3	滋賀	240.3	神奈川	251.3	愛知	253.9
47	沖縄	198.2	沖縄	203.7	沖縄	207.9	沖縄	213.3	沖縄	210.1
	全国	279.7	全国	283.2	全国	286.6	全国	290.3	全国	293.5

8

『出典』人口動態統計(厚生労働省)

スライド1-6

- 人口動態統計を用いて、悪性新生物の粗死亡率(人口10万対)を都道府県別に高率順位にならべたものです。
- 岩手県は、平成22年以降、ワースト11位～14位の間に位置しています。

3死因別粗死亡率(人口10万対)の都道府県別順位(高率順)

【心疾患(総数)】

順位	H22		H23		H24		H25		H26	
	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率
1	愛媛	222.8	福島	225.8	高知	249.1	高知	245.3	愛媛	240.0
2	高知	220.8	高知	224.6	愛媛	227.8	愛媛	238.6	高知	237.7
3	島根	214.0	愛媛	221.1	和歌山	224.4	和歌山	236.3	和歌山	231.5
4	秋田	211.1	岩手	219.3	岩手	219.2	福島	216.2	岩手	219.5
5	山口	203.3	和歌山	216.2	秋田	216.8	山口	216.1	秋田	219.2
6	岩手	202.5	秋田	215.3	福島	216.6	岩手	211.7	福島	215.3
7	和歌山	202.4	島根	208.6	山口	211.8	秋田	207.4	山口	213.2
8	福島	197.8	山口	208.2	青森	210.8	山形	204.7	香川	212.8
9	香川	192.5	宮崎	199.1	香川	208.6	香川	198.9	山形	207.1
10	青森	192.3	香川	198.3	島根	208.1	青森	198.7	徳島	203.0
11	山形	190.5	山形	197.9	鳥取	196.2	宮崎	197.6	宮崎	202.0
12	鳥取	188.2	青森	197.4	宮崎	196.1	島根	196.6	島根	196.5
13	鹿児島	183.6	福井	188.1	山形	195.1	徳島	196.2	青森	196.1
43	東京	126.9	東京	123.3	東京	130.1	東京	128.4	東京	130.0
44	愛知	119.2	神奈川	117.1	愛知	118.9	神奈川	118.6	神奈川	120.3
45	福岡	115.1	愛知	116.4	神奈川	117.0	愛知	114.9	愛知	116.2
46	神奈川	111.8	福岡	112.3	福岡	114.5	福岡	113.5	沖縄	113.5
47	沖縄	105.3	沖縄	109.8	沖縄	111.8	沖縄	107.9	福岡	112.3
	全国	149.8	全国	154.5	全国	157.9	全国	156.5	全国	157

9

『出典』人口動態統計(厚生労働省)

スライド1-7

- 人口動態統計を用いて、心疾患の粗死亡率(人口10万対)を都道府県別に高率順位にならべたものです。
- 岩手県は、平成22年以降、ワースト4位～6位の間に位置しています。

3死因別粗死亡率(人口10万対)の都道府県別順位(高率順)

【脳血管疾患(総数)】

順位	H22		H23		H24		H25		H26	
	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率
1	岩手	160.5	岩手	180.3	秋田	166.5	秋田	162.8	岩手	162.3
2	秋田	159.2	山形	165.2	岩手	165.1	岩手	160.9	秋田	159.1
3	長野	152.2	秋田	160.9	山形	156.2	山形	152.1	山形	150.4
4	山形	150.4	鹿児島	145.2	長野	151.5	長野	145.9	新潟	142.5
5	高知	149.5	新潟	144.8	新潟	146.5	新潟	143.9	長野	139.6
6	新潟	146.0	長野	144.2	青森	145.9	高知	141.5	青森	132.5
7	鹿児島	142.6	青森	141.5	鹿児島	142.4	福島	136.0	島根	131.4
8	青森	137.5	福島	140.3	鳥取	140.5	青森	135.5	福島	131.1
9	福島	137.0	高知	137.7	高知	140.3	島根	134.7	鹿児島	130.3
10	鳥取	136.4	島根	137.1	島根	138.5	鹿児島	132.6	高知	130.1
11	島根	135.7	鳥取	133.5	福島	130.6	鳥取	128.0	山口	118.8
12	山口	131.5	宮城	127.8	富山	128.4	山口	122.4	鳥取	117.5
13	富山	128.1	富山	127.1	宮崎	126.6	富山	120.2	山梨	117.3
43	滋賀	80.0	愛知	78.8	東京	76.7	東京	74.7	埼玉	72.2
44	愛知	78.3	滋賀	78.4	愛知	76.7	神奈川	73.4	東京	72.1
45	神奈川	75.8	神奈川	76.5	神奈川	75.1	愛知	73.2	神奈川	69.9
46	大阪	71.9	大阪	72.7	大阪	71.2	大阪	69.5	大阪	68.1
47	沖縄	66.3	沖縄	65.8	沖縄	59.5	沖縄	60.8	沖縄	63.3
	全国	97.7	全国	98.2	全国	96.5	全国	94.1	全国	91.1

10

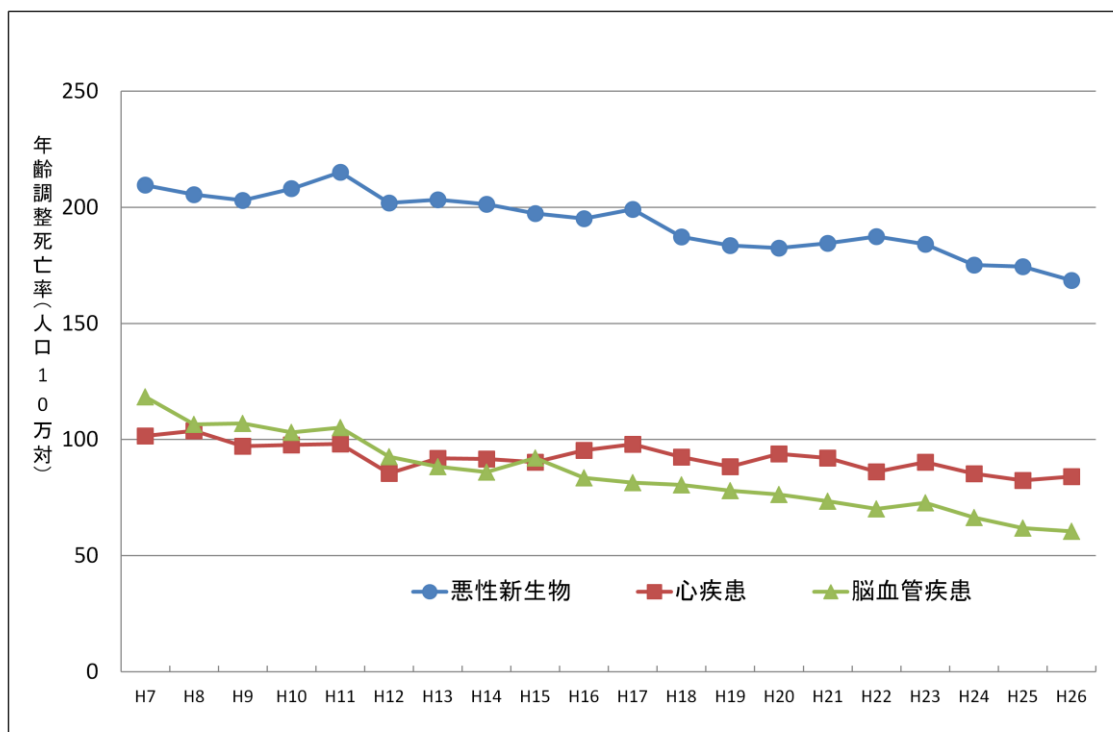
『出典』人口動態統計(厚生労働省)

スライド1-8

- 人口動態統計を用いて、脳血管疾患の粗死亡率(人口10万対)を都道府県別に高率順位にならべたものです。
- 岩手県は、平成22年以降、ワースト1位又は2位に位置しており、全国平均の約2倍の高率となっています。

⇒ 次回につづきます。

3死因の年齢調整死亡率の推移 岩手県 男

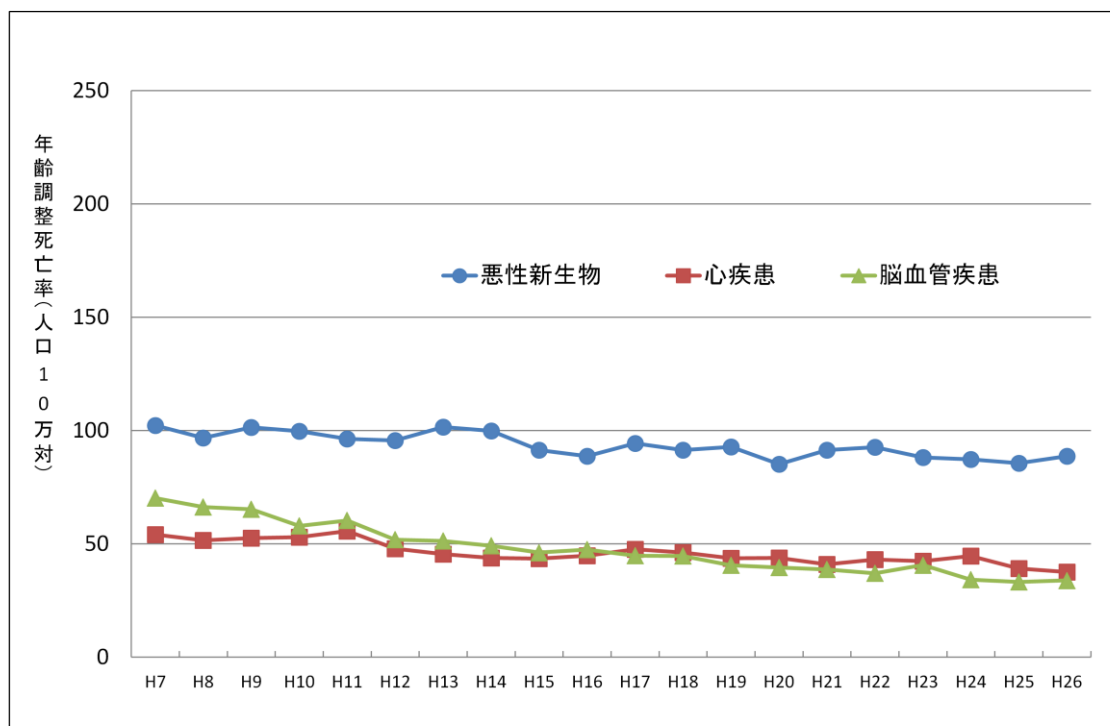


11 (注) 各年の5歳階級別人口(不詳按分済)と5歳階級別死因別死亡数、昭和60年モデル人口を用いて、岩手県環境保健研究センターで算出。

スライド1-9

- 昭和60年モデル人口を用いて、男性の悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の年齢調整死亡率を算出したものです。
- 平成7年以降、3疾患とも穏やかな低下傾向にありますが、心疾患は平成22年以降、横ばいとなっています。

3死因の年齢調整死亡率の推移 岩手県 女



12 (注)各年の5歳階級別人口(不詳按分済)と5歳階級別死因別死亡数、昭和60年モデル人口を用いて、岩手県環境保健研究センターで算出。

スライド1-10

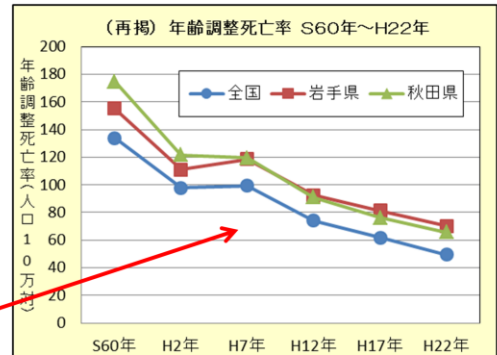
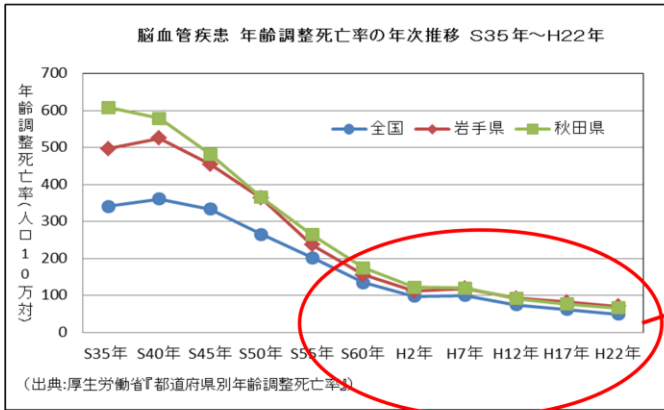
- 昭和60年モデル人口を用いて、女性の悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の年齢調整死亡率を算出したものです。
- 平成7年から平成16年まで、3疾患とも低下しましたが、それ以降は大きな変化がなく、横ばいとなっています。

⇒ 次回につづきます。

脳血管疾患 年齢調整死亡率(人口10万対)【男性】 都道府県別順位 ワースト5の年次推移

	S35年	S40年	S45年	S50年	S55年	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
第1位	秋田県	秋田県	秋田県	秋田県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	青森県	青森県	岩手県
第2位	青森県	岩手県	岩手県	岩手県	秋田県	秋田県	秋田県	青森県	岩手県	岩手県	青森県
第3位	岩手県	福島県	福島県	栃木県	山形県	青森県	茨城県	宮城県	秋田県	栃木県	秋田県
第4位	山形県	山形県	宮城県	福島県	福島県	福島県	宮城県	秋田県	栃木県	秋田県	栃木県
第5位	福島県	青森県	栃木県	新潟県	茨城県	宮城県	青森県	岩手県	長野県	福島県	宮城県

9位岩手県 10位岩手県 11位岩手県



岩手県の死亡率は、全国と同様低下傾向にありますが、H7年以降は全国、秋田県より下がり方が緩やかです。

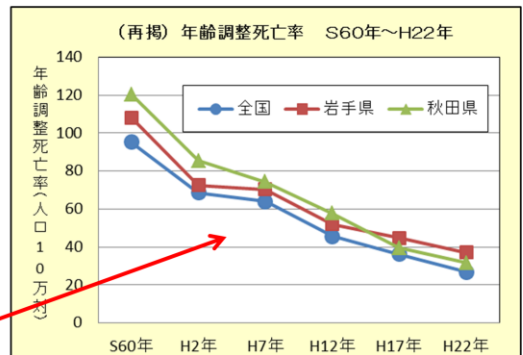
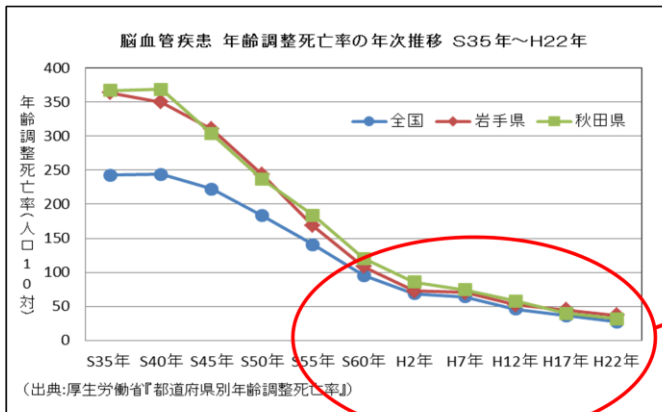
13

スライド1-11

- 男性の脳血管疾患の年齢調整死亡率を、5年毎に国が公表する「都道府県別年齢調整死亡率」を用いて、ワースト順にならべたものです。
- 岩手県は、平成22年にワースト1位になっています。
- 昭和35年からの年齢調整死亡率の年次推移をみると低下していますが、平成7年以降、全国よりも低下の仕方が緩やかとなっています。

脳血管疾患 年齢調整死亡率(人口10万対)【女性】 都道府県別順位 ワースト5の年次推移

	S35年	S40年	S45年	S50年	S55年	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
第1位	秋田県	秋田県	岩手県	岩手県	栃木県	栃木県	栃木県	宮城県	秋田県	栃木県	岩手県
第2位	岩手県	岩手県	秋田県	秋田県	秋田県	宮城県	秋田県	栃木県	栃木県	青森県	栃木県
第3位	山形県	長野県	福島県	福島県	宮城県	秋田県	宮城県	茨城県	茨城県	岩手県	青森県
第4位	福島県	福島県	宮城県	宮城県	福島県	茨城県	山形県	秋田県	福島県	茨城県	宮城県
第5位	長野県	新潟県	山形県	長野県	長野県	福島県	長野県	福島県	群馬県	群馬県	福島県
					8位岩手県	14位岩手県	12位岩手県	12位岩手県	8位岩手県		



岩手県の死亡率は、全国と同様低下傾向にありますが、H7年以降は全国、秋田県より下がり方が緩やかです。

14

スライド1-12

- 女性の脳血管疾患の年齢調整死亡率を、5年毎に国が公表する「都道府県別年齢調整死亡率」を用いて、ワースト順にならべたものです。
- 岩手県は、平成22年にワースト1位になっています。
- 昭和35年からの年齢調整死亡率の年次推移をみると低下していますが、平成7年以降、全国よりも低下の仕方が緩やかです。

平成22年 脳血管疾患の病類別年齢調整死亡率(人口10万対)

都道府県別順位(高率順)

年齢階級別では、55～59歳から急に死亡率が高くなっています。

年齢階級別では、75～79歳から急に死亡率が高くなっています。

くも膜下出血			脳内出血			脳梗塞		
順位	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率	都道府県	死亡率
1	栃木	8.4	岩手	24.6	岩手	35.8	福島	17.4
2	岩手	8.1	宮城	23.3	青森	35.7	長野	16.9
3	宮城	7.7	青森	23.0	秋田	33.2	栃木	16.7
4	滋賀	7.5	秋田	22.9	栃木	32.5	宮城	16.4
5	高知	7.3	鹿児島	22.4	福島	32.2	茨城	16.3
6	鹿児島	7.3	沖縄	21.9	山口	30.8	岩手	16.2
7	青森	7.1	栃木	20.7	石川	29.9	群馬	15.7
8	秋田	7.1	高知	20.3	山形	29.8	山形	15.6
9	福島	6.9	茨城	20.0	新潟	29.8	新潟	15.6
10	茨城	6.9	静岡	19.9	宮城	29.5	青森	15.5
11	埼玉	6.9	新潟	19.8	茨城	29.5	秋田	14.9
12	熊本	6.8	山形	19.5	富山	29.1	三重	14.2
13	鳥取	6.7	宮崎	18.5	高知	28.8	島根	14.2
14	大分	6.7	東京	18.4	長野	28.4	鹿児島	14.2
15	岡山	6.5	岡山	18.3	群馬	27.3	埼玉	13.9
43	沖縄	4.5	佐賀	12.8	滋賀	21.0	佐賀	10.5
44	岐阜	4.0	石川	12.5	広島	20.8	滋賀	10.2
45	奈良	4.0	滋賀	12.3	熊本	19.7	広島	9.8
46	和歌山	3.9	奈良	11.1	京都	19.1	熊本	9.7
47	香川	3.5	香川	11.1	沖縄	17.7	熊本	9.1
	全国	5.7	全国	17.1	全国	25.4	全国	12.8

15

『出典』平成22年都道府県別年齢調整死亡率 人口動態統計特殊報告(厚生労働省)

スライド1-13

- 平成22年の脳血管疾患病類別年齢調整死亡率を、都道府県別に高率順にあらわしたものです。
- 男性は、脳内出血と脳梗塞でワースト1位となっており、ベスト1の県の約2倍の死亡率となっています。
- 年齢階級別にみると、55～59歳から急に死亡率が高くなっています。
- 女性は、脳内出血がワースト1位で、ベスト1の県の約3倍の死亡率です。
- 年齢階級別にみると、75～79歳から急に死亡率が高くなっています。

「人口動態統計」については以上です。

⇒ 次回からは新シリーズ

「生活習慣アンケート等集計結果(妊婦・幼児・児童・生徒)」です。